

◆主題名

みんな同じがよいのか

内容項目

A-(3) 向上心、個性の伸長

教材名・出典

トマトとメロン

本時のねらい

自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。

生徒の実態を把握するために必要なアンケートの内容

中心となる発問を主題とつなげるために、どんな発問をしておけばよいだろうか。

- ① 自分の良さってなんだろう？
- ② なぜ、トマトとメロンを比べてもしょうがないのだろうか？
- ③ ほかの人と比べてしまうのはなぜだろう？

◆テーマ

(中心となる発問)

この詩を通して、相田さんは私たちに「どう生きてほしい」と言っているのだろうか。

ねらいとする価値に迫るために

なぜ学び合う活動をさせるのか、その意図を明確に。

◆学び合う活動のねらい

変容をねらう 多様さに気付かせる 自分の考えを深めたり広げたりする

その他()

学び合う活動のねらいを達成するための手立て

- 1 心情円盤 2 ネームプレート 3 付箋紙 4 心のもさし 5 ICT 6 その他

学び合う活動のスタイル

- 1 フリー() 2 ペア 3 グループ 4 その他

◆最後の振り返り

この時間を通しての「本音」が聞けるように！

【授業後の反省】

- ・中心発問をもう少し考えが深まるような質問にできればよかった。
- ・最初の「自分の良さってなんだろう？」の問いに答えられない、なかなかかけない生徒がいたことに驚いた。でも、生徒たちは一生懸命思いや考えを書き、多くの生徒が人は人、自分は自分、人と比べる必要はないという考えに至っていたので良かった。この題材を扱う少し前に、たまたまテレビで相田光男さんの番組を見ていたので、相田さんについて生徒たちに話せたのもよかった。

Link